

# 選挙区条例を廃止するべき



委員長 国 本 一 夫

伊達市議会  
議員選挙区条例  
検討特別委員会

## 伊達市議会全員協議会

平成28年11月15日(火)

から、仮算定結果などの説明を受けた。

### ■市営住宅の家賃制度見直し (案)について

11月15日に当委員会を開催し、それまでの調査を踏まえて各委員が意見や考え方について述べ、12月9日の委員会において、「伊達市議会議員選挙区条例の在り方について」の結論を出すため「記名投票」により採決した結果、委員会として「選挙区条例を廃止するべき」との結論（委員長及び欠席1名を除く16票中14票）となりました。

特別委員会として結論が得られたため、調査が終了しました。

市営住宅の最も収入が少ない区分の家賃額が、生活保護受給者に支給される住宅扶助額を下回る（市営住宅の家賃が安すぎる）状況が現在も続いている。

また、市営住宅と民間賃貸住宅の家賃水準を比較すると、低所得者に対する市営住宅のセーフティネットとしての役割を鑑みても、依然として大きな格差が生じていることから、減免制度を含む家賃制度の見直し案の説明を受けた。

### ■伊達赤十字病院への財政支援について

伊達赤十字病院の経営状況について病院から示された平成28年度収入支出決算見込や平成28年度から「精神等特殊医療」に係る措置など特別交付税の算定方法の見直しについての説明を受けた。

他の自治体の負担がないという点については、他の町にはまだ使える火葬場があり利用されていることや広域での取り組みでないと交付金が期待できないことなどが理由。平成32年に運用開始を予定し、利用料金は今後の協議となるが、ランニングコスト分を貯める料金設定を検討しているとのことでした。

### ■国民健康保険事業納付金の状況について

国民健康保険法に基づき、平成30年度から新たな制度に移行し、道が算定する市町村ごとの国民健康保険事業費納付金の額が、各市町村の保険料決定の基礎となること

老朽化が著しい伊達市火葬場について、新しい火葬場を1市3町（伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町）で共同整備する計画について説明を受けた。

### ■火葬場共同整備について

一部事務組合により共同整備し、概算整備費9億5千万円。建設費用の全額を伊達市が負担するが、西胆振消防組合の枠組を活用した

## 新火葬場施設概要

- ▶建設場所・・・伊達市上館山町63番地10  
(現火葬場敷地内)
- ▶火葬炉数・・・3基
- ▶待合室・・・3室
- ▶敷地面積・・・14,328m<sup>2</sup>
- ▶建築面積・・・1,200m<sup>2</sup> (現施設512m<sup>2</sup>)